

原子力発電機器・部品の中国国内及び海外の供給チェーン確立に向けた 日中協力のための中国核工業集団公司及び海塩県人民政府との協議会 第一回日中合同協議会 帰国報告会のご案内

▼背景

中国国内では2016年1月現在、31基の原子力発電所が稼働中、24基が建設中です。
又、国内で計画中は275基に達しています。こうした中で、海外輸出においても中国政府の方針に従い、中国の3大原子力事業者である**中国核工業集団公司(中核集団)**、**中国広核集団有限公司**、**国家電力投資集団公司(国家核電技術公司)**はAIIBに基づく原子力発電プラントの海外輸出を積極的に展開しています。

▼現状

このうち中国を代表する中核集団は原子力発電事業だけでなく核燃料サイクル事業を手がけていますが、同集団は浙江省人民政府との合意のもと、海塩県において「**核電城**」(Nuclear Power City)プロジェクトを進めています。
又、中核集団と緊密な関係にある海塩県人民政府によると、**両者は「原子力機器・部品の国際・国内調達センター」を共同で設立し、国内及び海外の需要に対応する体制作りを進めています。**

▼第一回日中合同協議会 開催報告

中核集団は、海塩県人民政府と協力して、国内外の原子力発電プラント事業を展開するにあたり、日本の原子力発電機器・部品の供給について、高い関心を示している事から、本年4月19日(火)に中核集団及び海塩県人民政府関係者と今後、日本からの機器・部品供給の可能性について協議して参りました。
つきましては、標記報告会を開催致しますので、原子力発電機器・部品メーカー各位におかれましてはご参加賜ります様、お願い申し上げます。

■帰国報告会 概要

日時： 平成28年 6月 3日(金) 13:30~16:00
会場： 中央大学 駿河台記念館 650号室 (JR中央・総武線御茶ノ水駅 / 千代田線新御茶ノ水駅(B1出口) / 丸ノ内線御茶ノ水駅)
発表者： 1. 諸葛 宗男 氏 (訪中団団長)
(NPO法人パブリック・アウトリーチ(PONPO) / 科学技術コンシェルジュ / 元東京大学公共政策大学院特任教授)
「第一回日中原子力発電機器・部品コンソーシアム協力(日中原子力発電機器・部品協力三原則について)」
2. ㈱荏原製作所 岡山 典弘 氏 「三原則の感想及び原子力機器・部品調達センター構想(仮題)」
3. 東亜バルブエンジニアリング(株) 阪口 博保 氏 「中国新契約体制について(仮題)」
4. 日本テピア(株) 窪田 秀雄 氏 「中国の原子力産業の最新実情(仮題)」
費用： 無 料 / 関連資料配布
定員： 50名 (但し、定員になり次第締め切らせて頂きます)
主催： 一般社団法人 日本技術者連盟 国際原子力発電機器・部品コンソーシアム
後援： 一般社団法人 火力原子力発電技術協会

「国際原子力発電機器・部品コンソーシアム」

(敬称略)

委員長： 鷲見 禎彦 (元関西電力(株) 代表取締役社長 / 元日本原子力発電(株) 代表取締役社長)

委員： 松井 一秋 / 尾本 彰 / 諸葛 宗男 / 内藤 香

顧問： 佐々木宜彦 / 野々内 隆 / 榎本 聡明 / 宮 健三 / 秋元 勇巳

企業委員： 伊藤忠商事(株) / ㈱IHI / ㈱荏原製作所 / オルガノ(株) / 富士電機(株) / ㈱スリー・アール / 日立造船(株) / 平田バルブ工業(株) 他

《お問合せ》 一般社団法人 日本技術者連盟 〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F
TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940 E-mail: idota@jef-site.or.jp / gyomu1@jef-site.or.jp

参加申込書

以下必要事項をご記入の上、FAX : 03-6229-1940またはE-mail : gyomu1@jef-site.or.jp までお申込み下さい。

貴社名/貴団体名		所属学会/団体名	
部署名		役職	
お名前		E-mail	
ご住所	〒		
TEL		FAX	